

令和 8 年度
「運営に関する計画」

大阪市立市岡東中学校

令和 8 年 4 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

授業理解度の高さ と ICT の定着

- ✓ 生徒の授業内容の理解度は極めて高く、目標を大きく上回っている。
- ✓ 学習者用端末の利用率やスクールライフノートの毎日活用が定着している。

いじめ規範意識と自己肯定感の向上

- ✓ いじめはどんな理由があってもいけないという回答が 83.1%に達し、規範意識が醸成されている。
- ✓ 自分にはよいところがあるという自己肯定感も 79.1%となり、目標を達成した。

不登校生徒比率の改善傾向

- ✓ 在籍生徒に占める不登校比率が、前年度から減少した。

働き方改革の進展

- ✓ 時間外勤務の基準を満たす教員の割合が、全市平均を下回る勤務時間を維持できている。

理解を成果に繋げる自学自習力の不足

- ✓ 家庭学習を 1 時間以上行う生徒は 55.3%に留まり、目標に届いていない。
- ✓ 中学校チャレンジテスト(特に 1 年生の国語・数学)において、前年度比でスコアが低下しており、基礎学力の定着に課題がある。
- ✓ 授業理解度は高いため、学習動画等も活用し、生徒が自ら学ぶメタ認知能力を育てる指導が必要。

不登校支援の質的改善と個別支援

- ✓ 校内の不登校比率は下がったものの、個々の不登校生徒の改善率は市平均を下回っている。
- ✓ 学校が楽しいと回答した生徒の割合が目標に届かず、一部の生徒にとっての安心できる居場所づくりが依然として課題。

規範意識と実行動の乖離

- ✓ 相手の気持ちを考えて行動しているという自己評価が、目標を大幅に下回っている。
- ✓ 挨拶や校則遵守の肯定率が目標に届いておらず、知識としての理解を日常の習慣へ昇華させる必要がある。

働き方改革を阻む事務負担

- ✓ 教職員の意識は向上しているが、業務の多さがボトルネックとなり、完全退勤目標が未達成。

安全・安心な教育の推進

[基本的な方向 1] 安全・安心な教育環境の実現

- ✦ 令和 11 年度末の校内調査「学校での生活は楽しい。」の肯定的回答の割合を 89.0%以上にする。
- ✦ 令和 11 年度末の不登校生徒の在籍比率を 10.0%以下にする。

[基本的な方向 2] 豊かな心の育成

- ✦ 令和 11 年度末の校内調査「自分の将来について考えることができる。」の肯定的回答の割合を 90.0%以上にする。
- ✦ 令和 11 年度末の校内調査「自分や他人の大切さを認め、尊重している。」の肯定的回答の割合を 90.0%以上にする。

未来を切り拓く学力・体力の向上

[基本的な方向 4] 誰一人取り残さない学力の向上

- ✦ 令和 11 年度末の校内調査「友達との話し合いを通じて、自分の考えを深めたり、新しい発見をしたりしている。」の肯定的回答の割合を 85.0%以上にする。
- ✦ 令和 11 年度末の校内調査「学力調査や体力調査の結果を分析し、教育活動の改善に活用している。」と答える教員の割合を 100%にする。

[基本的な方向 5] 健やかな体の育成

- ✦ 令和 11 年度末の校内調査「運動やスポーツ(体を動かす遊びを含む)をすることが好きだ。」の肯

定的回答の割合を 84.0%以上にする。

- ✦ 令和 11 年度末の校内調査「規則正しい生活ができている。」の肯定的回答の割合を 90.0%以上にする。

学びを支える教育環境の充実

【基本的な方向 6】教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

- ✦ 令和 11 年度末までに全普通教室に大型モニタを整備する。
- ✦ 令和 11 年度末の校内調査「タブレット等を活用して、意見を交流したり比べたりしている。」の肯定的回答の割合を 80.0%以上にする。
- ✦ 令和 11 年度末の校内調査「ネットや SNS、生成 AI 等を使う際、事実を確認し、いじめにつながらないように注意している。」の肯定的回答の割合を 80.0%以上にする。

【基本的な方向 7】人材の確保・育成としなやかな組織づくり

- ✦ 令和 11 年度末の教職員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を 30 時間以下にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

安全・安心な教育の推進

- ✦ 年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 89.0%以上にする。
- ✦ 年度目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 76.0%以上にする。
- ✦ 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- ✦ 年度目標アンケートにおける「保護者との間にスマートフォン等(インターネットを通じたゲーム・動画・SNS 等の利用(パソコンや携帯電話・タブレット端末を含む))を利用する時のルールはありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 70.0%以上にする。

未来を切り拓く学力・体力の向上

- ✦ 年度目標アンケートにおける「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80.0%以上にする。
- ✦ 大阪市英語力調査における CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合を 65.0%以上にする。
- ✦ 年度目標アンケートにおける「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 82.0%以上にする。
- ✦ 年度目標アンケートにおける「規則正しい生活(「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」)が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 90.0%以上にする。

学びを支える教育環境の充実

- ✦ 年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 82.0%以上にする。
- ✦ 年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 91.0%以上にする。
- ✦ 年度目標アンケートにおける「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用する時に、情報の確かさを確認し、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 96.0%以上にする。
- ✦ 教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間について、時間外勤務時間上限基準の「基準 1」達成率を 51.0%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

本年度の学校運営全体を通じての成果

✓

項目や取組の重点の置き方について

✓

目標を達成できなかった項目に見られた課題について

✓

成果を伸ばし課題を改善するために、次年度に向けて取り組むこと

✓

大阪市立市岡東中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>安全・安心な教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ✦ 年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 89.0%以上にする。 ✦ 年度目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 76.0%以上にする。 ✦ 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。 ✦ 年度目標アンケートにおける「保護者との間にスマートフォン等(インターネットを通じたゲーム・動画・SNS等の利用(パソコンや携帯電話・タブレット端末を含む))を利用する時のルールはありますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 70.0%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容01【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>1-1 いじめへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スクールライフノートの「心の天気」機能を活用した毎日の早期発見と、生徒会主導の「いじめゼロ宣言」の更新。 ✧ 校内調査「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている。」肯定率 85.0%以上。 	
<p>取組内容02【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>1-2 不登校への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 校内教育支援センター(スペシャルサポートルーム)の常設化と、スタディサプリ等を活用した学習による学びの保障を実施。 ✧ 不登校生徒の改善率(登校・学びの継続)30.0%以上。 	
<p>取組内容03【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>1-3 問題行動への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 問題行動を起こした生徒に対し、「なぜその行動に至ったか」「どう修復するか」を考えさせる指導の実施。 ✧ 校内調査「学校のきまりや校則を守っている。」肯定率 80.0%以上。 	
<p>取組内容04【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>1-4 児童虐待等への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学校適応感尺度(AISES)結果やスクールライフノートで把握した情報の分析による早期発見のシステム化と外部機関との迅速な連携。 ✧ 校内調査「困ったことがあった時、先生は相談にのってくれる。」肯定率 90.0%以上。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容05【1 安全・安心な教育環境の実現】 1-5 防災・減災教育の推進 ● 休み時間や清掃時間など、教職員の指示がすぐには届かない状況での抜き打ち避難訓練を行い、生徒の判断力を養う。 ✧ 校内調査「災害が起きた時、自分がどのように行動すべきか理解している。」肯定率 80.0%以上。	
取組内容06【1 安全・安心な教育環境の実現】 1-6 安全教育の推進 ● SNS 上の対人トラブルやネット詐欺の事例、デート DV や、同意のない行為は性暴力であることを具体的な事例を用いた授業の実施。 ✧ 校内調査「学校は、子どもの健康や安全・事故防止に十分注意を払っている。」肯定率 93.0%以上。	
取組内容07【2 豊かな心の育成】 2-1 道徳教育の推進 ● 答えが一つではない道徳(ローテーション道徳)の実施。近隣校との連携。 ✧ 校内調査「相手の気持ちを考えて、言葉を選んだり行動したりしている。」肯定率 96.0%以上。	
取組内容08【2 豊かな心の育成】 2-2 キャリア教育の充実 ● 地域や OEN を活用した課題解決プロジェクトを通じ、端末等を活用して解決策をプレゼンする。 ✧ 校内調査「将来の目標や夢を持っている。」肯定率 75.0%以上。	
取組内容09【2 豊かな心の育成】 2-3 人権を尊重する教育の推進 ● 日常に潜むアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)について学習し、他者を思いやる気持ちや、自他の権利を重んじる態度を育む。 ✧ 校内調査「学校は、人権を尊重した適切な指導を行っている。」肯定率 80.0%以上。	
取組内容10【2 豊かな心の育成】 2-4 インクルーシブ教育の推進 ● 自立活動 6 区分(健康の保持、心理的な安定、人間関係の形成、環境の把握、身体の動き、コミュニケーション)に基づく実態把握の徹底。 ✧ 自立活動の目標を反映した「個別の指導計画」に基づく評価の実施率 100%。	
取組内容11【2 豊かな心の育成】 2-5 多文化共生教育の推進 ● ルーツを持つ生徒や関係機関と連携し、各国の文化・歴史・遊びを学ぶ時間を設定。違いを「壁」ではなく「価値」として捉える。 ✧ 校内調査「自分とは違う考えや文化を持っている人を大切にしている。」肯定率 85.0%以上。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
✓
次年度(今後)への改善点
✓

年度目標	達成状況
未来を切り拓く学力・体力の向上	
<ul style="list-style-type: none"> ✚ 年度目標アンケートにおける「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80.0%以上にする。 ✚ 大阪市英語力調査における CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合を 65.0%以上にする。 ✚ 年度目標アンケートにおける「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 82.0%以上にする。 ✚ 年度目標アンケートにおける「規則正しい生活(「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」)が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 90.0%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容12【4 誰一人取り残さない学力の向上】	
4-1 言語活動・理数教育の充実(思考力・判断力・表現力等の育成) <ul style="list-style-type: none"> ● 教科指導等を通じて、ペアワークやグループディスカッションにおいて、相手の意見を要約して返すようなスキルトレーニングを実施。 ✧ 授業の理解度 95.0%以上。 	
取組内容13【4 誰一人取り残さない学力の向上】	
4-2「主体的・対話的で深い学び」の推進(実態に応じた個別支援の充実) <ul style="list-style-type: none"> ● 企業と連携した探究学習の実施や、教科指導においては、高い授業理解度を土台に、自ら問いを立て解決する探究力の育成を図る。 ✧ 校内調査「授業の中で、自分の考えを文章や言葉で表現する機会がある。」肯定率 90.0%以上。 	
取組内容14【4 誰一人取り残さない学力の向上】	
4-3 英語教育の強化 <ul style="list-style-type: none"> ● 学習者用端末等を活用した学習の拡大、およびスピーキングテストの実施による発信力の強化。 ✧ CEFR A1 レベル(英検3級相当)以上の英語力を有する3年生の割合 65.0%以上。 	
取組内容15【5 健やかな体の育成】	
5-1 体力・運動能力向上のための取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ● 体育の授業や運動部活動、各学年でのスポーツイベントの実施による、運動機会の創出。 ✧ 全国体力・運動能力調査における体力合計点の対全国比 1.00 以上。 	
取組内容16【5 健やかな体の育成】	
5-2 健康教育・食育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ● 生徒自身の言葉で健康の大切さを伝える、ピア啓発活動の実施。 ✧ 校内調査「生活習慣を見直し、健康に過ごせるよう意識している。」肯定率 81.0%以上 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
✓
次年度(今後)への改善点

✓

年度目標	達成状況
学びを支える教育環境の充実	
<ul style="list-style-type: none"> ✦ 年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 82.0%以上にする。 ✦ 年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 91.0%以上にする。 ✦ 年度目標アンケートにおける「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用する時に、情報の確かさを確認し、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 96.0%以上にする。 ✦ 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間について、時間外勤務時間上限基準の「基準1」達成率を 51.0%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容17【6 教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】	
6-1 ICT を活用した教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ● 順次、普通教室への大型モニタの設置、およびスタディサブリを一例とする、各種ツールによる個別最適な学習の深化。 ✧ 学習者用端末の毎日活用率(授業および家庭学習)85.0%以上。 	
取組内容18【6 教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】	
6-2 データ等の根拠に基づく施策の推進(教育データの活用) <ul style="list-style-type: none"> ● スクールライフノートや AISES の分析から、孤立や不適應の兆候がある生徒を抽出した教職員チームの早期介入。 ✧ データ分析に基づき個別の支援方針を決定した事案の割合 100%。 	
取組内容19【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】	
7-1 働き方改革の推進 <ul style="list-style-type: none"> ● 行事予定や会議資料、指導案等のクラウド化、印刷業務の縮小を図る。また、指導案の構成案や通知表所見の作成支援等に生成 AI 活用を拡大するなど、事務作業時間を削減。捻出した時間を生徒との対面相談や授業準備に充てる。 ✧ 校内調査「ICT の活用により、生徒一人ひとりと向き合う時間が増えた。」肯定率 63.0%以上。 	
取組内容20【8 生涯学習の支援】	
8-3 学校図書館の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ● 書架の POP に端末をかざすと、他の生徒の感想や紹介動画が再生される仕掛けの構築等の工夫を凝らす。 ✧ 校内調査「読書をするのが好きだ。」肯定率 64.0%以上。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容21【9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】	
9-2 地域学校協働活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ● 学校元気アップ事業による放課後・長期休業中の学習支援(自主学習)の実施、PTA と連携した謎解きイベントの実施。 ✧ 校内調査による「保護者として、学校と連携しながら子どもの教育に関わることができている。」肯定率 50.0%以上。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
✓
次年度(今後)への改善点
✓